

ホスピス・ボランティア養成研修のお知らせ

医療には、医師や看護師など専門職に加えて、ボランティアが大切な役割を果たします。それは、病に苦しむ人にとって、ボランティアの存在が医療という狭い世界から外の普通の世界への窓ともなるからです。そのためには、ホスピス・ボランティアとしての基礎から実践まで学ぶことが求められます。

この研修では、ホスピス・ボランティアの基礎を修得し、病院や在宅において実習することにより、主に終末期にある人とご家族に寄り添えるボランティアを養成します。

プログラム	日程	内容	該当マニュアル	講師
1	6月15日(土)	オリエンテーション	第1章	谷田憲俊 日本ホスピス在宅ケア研究会・理事
2	6月22日(土)	ホスピス緩和ケアの基礎知識(2)	第4,8章	谷田憲俊 松本京子 日本ホスピス在宅ケア研究会・理事 神戸なごみの家・代表
3	6月29日(土)	ホスピス緩和ケアの基礎知識(1)	第3章	宮田智恵子 六甲病院緩和ケア病棟・師長
4	7月6日(土)	コミュニケーション ボランティア体験談	第2章	尾崎勝彦 松井由子 姫路聖マリア病院 神戸つむぎの会・代表 ホスピスボランティア
5	7月13日(土)	悲しみにくれる人に寄り添う ホスピス・ボランティアを始める前に	第6,7,11章	船越政江 訪問看護ステーションわたぼうし・管理者
6	7月20日(土)	ホスピス緩和ケアに配慮すること	第5,9章	関本雅子 関本クリニック・理事長
7	8月3日(土)	ホスピス・ボランティアの役割	第10章	久保山千鶴 関本クリニック・ボランティアコーディネーター

※「該当マニュアル」は特定非営利活動法人日本ホスピス在宅ケア研究会の研修マニュアルに基づいています。

(<http://www2.toshiseikatsu.net/hospice/modules/tinyd0/index.php?id=23> を参照)

研修は講師が追加した教材を用いるときがありますが、マニュアルの該当する部分の予習をお願いします。

ホスピスのボランティア活動に意欲のある方はどなたでも受講できます。

▼ 養成講座 参加者の声 ▼

私は、緩和ケア病棟でボランティアとして活動しています。日々の活動が、井の中の蛙では…と、思う事があり、この研修を受講しました。受講後、改めて、患者様に寄り添ったり、ご家族に寄り添う事の難しさを感じました。又、在宅での看取りの重要性、ご家族の葛藤等、病院で感じる事とは違う良さや問題点も垣間見る事が出来ました。そして、この機会が、これからの活動に新しい風を吹かせてくれるのでは、と思っています。

神戸つむぎの会 代表 松井 由子

時間

15:30-17:30

定員

20名

場所

※裏面詳細

神戸市中央区港島南町 1-6-4
IMP ビル 3F 情報交流室

受講費

教材費含む

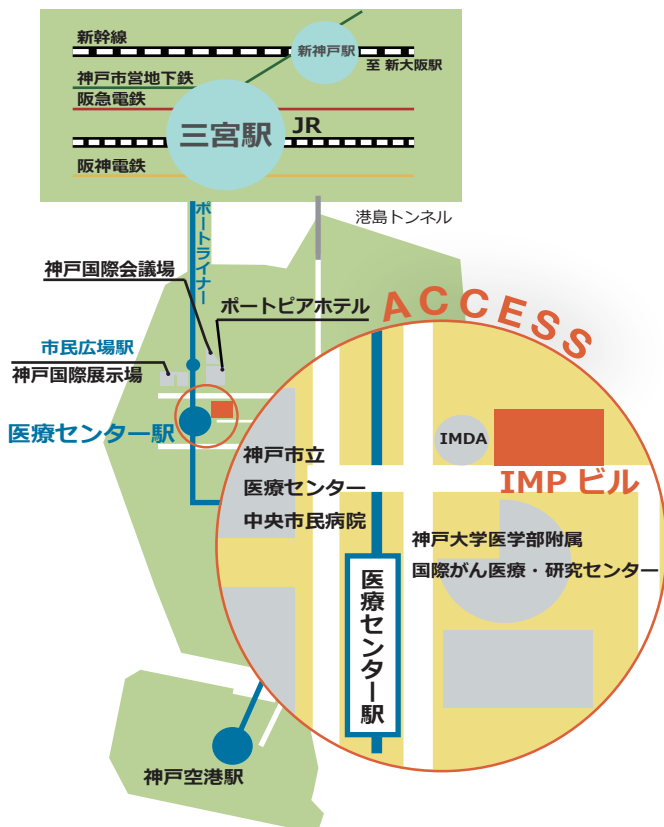
5,000円

【主催】公益財団法人 神戸国際医療交流財団

【後援】特定非営利活動法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会

フリガナ 氏名	
所属名	
役職	
住所	〒 ー
連絡先	TEL () FAX () MAIL @

▼ 会場案内



【最寄駅】ポートライナー「医療センター駅」
医療センター駅から北方向へ約 100m

▼ 事前に 参加費を下記に お振込ください

みずほ銀行

神戸支店 普) 1482913

口座名義

公益財団法人 神戸国際医療交流財団

※お振込にかかる手数料は参加
者様でご負担ください。

※振込票の控えをもって領収証
とさせていただきます。

※ご入金頂いた参加費は返金で
きません。